

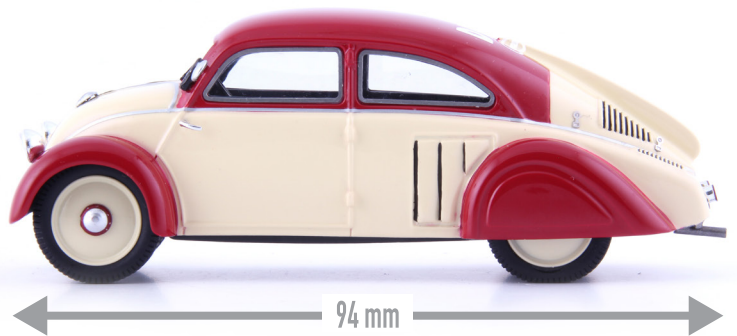
スケール 1/43

# #04025

刊行物

# 03/2020

制限333個



## トリアルバルーン

1930年代、自動車開発には特に2つの流行がありました。大衆向けの車の開発と、エンジンを車の後部に配置する車の開発です。フォルクスワーゲンとポルシェのデザインで両方のトレンドがどのように融合したかはよく知られています。

また、Auto-Union AG (アウディ、DKW、ホルヒ、およびヴァンダラーの合併ネットワーク)もこれらの流行を回避できませんでした。1933年の初めに、合理化されたボディワークと600 ccの2サイクルリアエンジンを備えた新しいプロトタイプが、ベルリンシュパンダウのDKW工場で作成されました。車体は1932年の夏の終わりにホルヒのボディメーカー「ヘルマン・アーレンス」によって設計されました。タトラ77スタイルのリアエンジンホルチV8の設計に加えて、合理化されたDKWはダイムラーベンツに彼が入社する前のAuto Unionでの最後の設計となりました。

車体は実績のある方法で構築されました。合成皮革で覆われた木製のフレームワー

クです。標準のDKWフロントモデルと比較して、走行特性は著しく悪化しましたが、現代のレポートによると、自動車組合の責任者は、後部エンジンを備えたプロトタイプの従来の前輪駆動設計を放棄できませんでした。

覚書の2行といくつかの写真を除いて、プロトタイプの文書は今日まで残っていません。ナンバープレートIV-36142に登録されたプロトタイプは、唯一の構築されたコピーです。その後の運命は不明です。

**AutoCult GmbH**  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

[www.autocult-models.de](http://www.autocult-models.de)